

令和3年度行政評価結果一覧(概要)

(令和2年度取組施策評価)

個別施策名等	主管部局	行政評価委員会による評価・課題の認識	左記に対する改善の方向性・指示事項
森林セラピー推進事業	産業部 商工観光課	<p>【行政評価委員会の評価】</p> <p>当初の事業目的である交流人口の増加という点では一定の効果があつたと考えるが、体験者数が伸びていないことが一番の課題となっている。また、森林セラピー事業を交流人口の増加につなげるだけでなく、地域経済活性化につながる仕組みづくりが必要である。</p>	<p>【行政評価委員会の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者への追跡調査(ニーズなどの把握)により、事業の充実やターゲットの絞り込み等効果的に事業を展開する必要がある。 ・民間事業者等の連携やSNS、口コミを活用し、PRを強化する必要がある。なお、情報発信は事業の所管課だけでなく、関連部局との横断的な連携によって、効果的な手法を検討していくこと。 ・森林セラピーの効果(健康増進につながるエビデンス)を整理する必要がある。 ・セラピーのみでは事業効果が限られており、関係する事業者等の輪を広げていく(セラピー事業の収入だけで終わらない)とともに、他の事業との連携による新たなプログラムの開発(健康増進、メンタルヘルス、民泊)が必要である。そのためには、早急に関係事業者と連携した(仮)森林セラピー協議会を立ち上げ、域経済活性化につながる仕組みをつくっていくこと。
		<p>【総合計画及び地域創生戦略委員会小委員会の評価(外部評価)】</p> <p>宍粟市の特色を生かした事業であり、今後も事業の継続を期待するが、利用者を増加させるためにも、下記の課題に取り組む必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート等の追跡調査ができる仕組みがない。 ・新規利用者及びリピーターの伸び悩みを解消するための手法や体制づくりが必要である。 ・森林セラピーのプログラムを充実させる必要がある。 	<p>【総合計画及び地域創生戦略委員会小委員会の評価(外部評価)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者のニーズなどを把握するためにも、アンケートのとり方を工夫するなどして追跡調査を実施する必要がある。また、周辺の観光資源と連携したプログラムづくりと、3つのセラピーロードの特色をアピールする必要がある。今後は利用者のニーズの把握などデータ分析を行っていくとともに、データや周辺地域の特性に応じたプログラムを展開していくこと。 ・利用者への情報提供の手法を充実させるとともに、他の地域との情報共有や連携により利用者の増加を図っていくこと。森林セラピーをPRする際には、森林セラピーによる科学的な効果を積極的に発信していくこと。

令和3年度行政評価結果一覧(概要)

(令和2年度取組施策評価)

個別施策名等	主管部局	行政評価委員会による評価・課題の認識	左記に対する改善の方向性・指示事項
<p>宍粟女子キラキラパワーアップ応援補助事業</p>	<p>市民生活部 人権推進課</p>	<p>【行政評価委員会の評価】</p> <p>女性の社会参加及び活躍への機会創出として本事業は一定の効果があったと考えるが、次のステップとなる男女共同参画社会の推進に向けた事業への見直しにあたり、次の課題があげられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新たな事業に見直して実施するにあたり、その事業の目的及び目標(KPIなど)の整理が必要である。 ・ 新たな事業が男女共同参画社会の実現につながる効果的な内容及び仕組みとなるよう整理する必要がある。 ・ 現行の補助事業を他の補助事業と統合するなかで、現在の運用方針との差異について整理が必要である。 ・ 活動団体の自立やより活性化できる環境づくりが必要である。 	<p>【行政評価委員会の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本事業については、他の補助事業と統合させることとし、次のステップとして、男女共同参画社会の促進に向けた補助制度を新たに創設すること。その場合、単なる同事業の継続とならないよう、しっかりとした目的、目標を掲げるとともに、他の地方公共団体の取組や活動団体に対して、アンケートを実施するなど調査を行うこと。 ・ 他団体との連携や情報交換ができる体制づくりが必要であるとともに、補助金活用後のフォローアップを適宜行っていき、活動しやすい環境づくりを進めること。
		<p>【総合計画及び地域創生戦略委員会小委員会の評価(外部評価)】</p> <p>補助事業創設から5年が経過し、一定の成果を得たことから、事業終了となることは理解できる。なお、今後の事業展開について、次の課題があげられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現行の補助事業による活動団体が、今後も継続して活動し、より活動が活性化できる環境づくりが必要である。 ・ 男女共同参画社会の実現に向けた新たな事業の実施にあたり、効果的な手法などを整理する必要がある。 	<p>【総合計画及び地域創生戦略委員会小委員会の評価(外部評価)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業を実施するうえで目的を達成するためには何が必要か、それに対してどのようにサポートしていくかが大切である。事業を実施する前に、現状の分析、ニーズの把握、体制づくりなどをしっかり整理すること。 ・ 男女共同参画社会の実現に向けた新たな事業の実施にあたり、活動団体との連携およびフォローアップを実施すること。

令和3年度行政評価結果一覧(概要)

(令和2年度取組施策評価)

個別施策名等	主管部局	行政評価委員会による評価・課題の認識	左記に対する改善の方向性・指示事項
地域防災体制の充実	市長公室 危機管理課	<p>【行政評価委員会の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後整備する災害用備蓄品の種類・数量や備蓄品の保管場所を検討する必要がある。 ・防災訓練における自治会等の意見を訓練内容の改善につなげられていない。また、若い世代への防災訓練参加に向けた実施方法の工夫が必要である。 ・自主防災マップ及び台帳について、実効性が発揮できる内容となっているか、役員以外への周知が行き届いているか検証する必要がある。 	<p>【行政評価委員会の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費期限が短い生活必需品については、各家庭での備蓄(自助)の啓発を進める必要がある。また、災害用備蓄倉庫の設置にあたっては災害時に道路が通行できないことも想定した整備を検討する必要がある。ただし、避難所ごとの備蓄品倉庫の整備は非効率と思われるため、災害時の運搬経路などをふまえた整備を検討すること。 ・自主防災マップ及び台帳等について、適正に更新されているか行政と情報が共有できる体制づくりが必要である。また、自主防災マップについても、役員だけでなく住民に広く周知するよう自主防災組織へ啓発を行っていく必要がある。なお、災害時に実効性のある運用ができていないか検証できる体制づくりを行うこと。 ・災害用備蓄品のローリングストックについて、効率よく整備するとともに備蓄品を大量に廃棄しないよう有効活用していくこと。また、中播磨西播磨防災計画の基準数量までとはいかなくとも、不足している備蓄品については、最低限確保すること。 ・様々な世代が参加しやすい防災訓練の内容や手法を検討すること。 ・避難所の状況をネットワークで確認できるように運用方針等を整理すること。